



Title	センターだより 大阪大学大型計算機センターニュース No.28
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1978, 28, p. 1-49
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65369
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

昭和53年度利用者講習会計画

開催予定時期	タイトル	内 容	参加資格者	募集範囲
4月中旬	①ACOS-800の 運用及びJCL ②FORTRAN プログラミング	ACOS-800における運用法 (新運用も含めて)とジョブ制御 言語を解説する。 FORTRAN(JIS7000)の知 識のある人を対象にACOSの FORTRANについて述べる。	大阪大学 大型計算機 センター 利用者	全地区
5月中旬 (2日間)	TSS	プログラミング経験者を対象に TSSの使い方をコマンドを中心 に解説する。 実習も行う。	"	"
5月下旬	データベース(1)	データベース管理システム(INQ) の概要を説明する。	"	"
6月上旬	ファイル・システム	TSSにおける使用法を中心にフ ァイルシステムの説明を行う。	"	"
6月中旬	データベース(2)	INQによるデータベース構築のため の手順について説明する。	"	"
6月下旬	ドラフタ・入出力媒 体変換システム	自動製図装置及び入出力媒体変換 用U200の概要、使用法を述べる。 実習も行う。	"	"
7月上旬	ファイルの利用法	ファイルの有効的な利用方法につ いて説明する。	"	"
9月中旬	データベース(3)	データベース管理システム(INQ) のデータ定義言語、データ操作言語 について解説する。	"	"

注) 講習会開催日時の詳細及び担当者は、講習会開催約1ヶ月前には広報致しますので、あらかじめ御了承願います。

昭和53年度（来年度） からの利用申請について

昭和53年4月（来年度）からのACOSシリーズ77NEACシステム800（以下S800と呼ぶ）の正式運用に伴って53年度利用申請書等の取り扱い及び様式を全面的に改正することとなり、従来使用していたすべての利用申請書等（利用申請書・ファイル申請書・共同研究者申請書・その他）は使用できませんので御留意願います。

改正するにあたっての基本的な考えは

1. 課題番号の継続処理
2. 管理運用に支障のない範囲において申請者の記入に関してはできるだけ簡素化する。
3. 承認及びシステムへの登録の迅速化を図る。

（手書きOCR用紙（光学文字読み取り装置）による
登録処理をテスト採用します。）

以上の通り申請手続き等の簡素化、短縮などを進めるため大幅な改正となっておりますが要点は次のとおりです。

1. 利用申請に関する事項

新規・継続・延長・変更申請を可能とし、また計算機システムにおいて予算管理（概算）が可能となるため予算額の項目を追加しました。

- 新規申請…利用有効期間は所定の手続きをとれば原則として3年です。また、課題番号はすべて数字になります。
- 継続申請…利用有効期間内でこの申請を行えば課題番号は継続されます。
- 延長申請…利用有効期間（3年）が過ぎてもこの申請を行えば課題番号は継続されます。
- 変更申請…新規申請時に記入した事項のいずれかの事項（研究課題を除く）を変更する場合にこの申請を行ってください。

なお、新規・変更申請についてはシステムへの登録作業等の迅速化を図るために従来利用申請書に組み込まれていたコード表を別葉としてテスト的に手書きOCR用紙を採用します。

2. 共同研究者に関する事項

- 共同研究者の利用有効期間は1年間です。
- 共同研究者も捺印してください。
- 共同研究者の記入項目はシステムへの登録作業のために手書きOCR用紙を採用し、これで一本化します。

3. パスワードに関する事項

- パスワード変更申請…パスワードは各課題番号について独自のものを必要とします。新規の申請はコード表の一項目として申請し、その後変更を必要とする場合に、この申請書を用います。

4. ファイルに関する事項

- 契約リンク数は、原則として制限はありません。
- 開設期間は新規申請時に終了時期の明示がない限り以降利用申請に関係し、継続・延長されます。

5. R J E端局（大阪教育大、徳島大、大阪電通大）からの利用者についてはシステム管理上申請を必要とした、リモート・バッチ利用申請を廃止いたします。

以下詳細は次の利用申請の手引きに示すとおりですので参照のうえ昭和53年度以降の申請手続きを行なってください。

なお、S800のファイル申請は、新しい申請書によって新規の取り扱いをいたしますが、現在、各自使用中のファイル（N2200/700利用者ファイル、S700・S800専用ファイル）を移行する問題に絡み、移行方法は速報No.48でお知らせしたとおりですが、申請手続きについては、速報No.49によって、この扱いを通知いたしますので移行希望のある利用者は、これに御留意のうえ別途申請を行なってください。

利 用 申 請 の 手 引 き

I. 利用のための手続き等について.....	6
II. 大阪大学大型計算機センター利用申請書・記入要領.....	12
III. 支払責任者及び経理責任者申請書・記入要領.....	14
IV. 大阪大学大型計算機センター利用申請に係るコード表・記入要領..... (手書きOCR用紙)	16
V. 共同研究者申請コード表・記入要領(手書きOCR用紙).....	18
VI. パスワード変更申請書・記入要領.....	20
VII. ファイル申請書・記入要領.....	20
VIII. 主要コード表一覧.....	22
IX. 主な申請書の記入例.....	27

I. 利用のための手続き等について

1. 利用資格

本センターを利用することのできるものは次のとおりです。

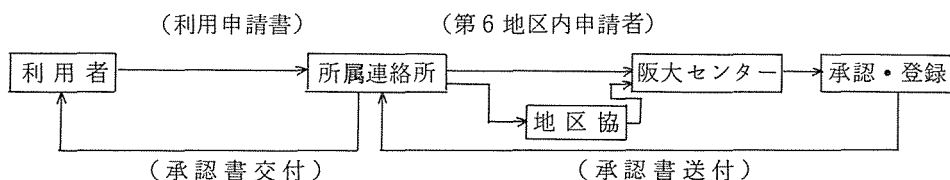
- ① 大学または高等専門学校教員及びこれに準ずるもの。
- ② 国立学校以外の文部省所轄機関の研究職員。
- ③ 学術研究を目的とする機関で、センター長が認めたものに所属し、もっぱら研究に従事するもの。
- ④ 文部省所管の科学研究費補助金の交付を受けて学術研究を行なうもの。
- ⑤ その他特にセンター長が適当と認めたもの。

①の「これに準ずるもの」は主として大学院学生です。研究生とか研究員とかいう名称で大学で研究をしている方は、その実態に応じて判定されます。教務職技官はだいたい教員に準ずるものと考えられています。③の項目にある機関とは、法人組織の研究所などを想定していますが、これらはその設置目的や実際の運営状況などによって判定されます。

2. 利用（課題）の申請と承認

各種申請書の項でも述べるとおり、本センターを利用するにあたっては、各申請書を提出し、承認を受けなければなりません。各申請書の中で第一義的意味を持つものが「大阪大学大型計算機センター利用申請書」です。センターを利用しようとする方（継続利用を含めて）は、まず、この申請書に研究課題ごとに記入要領に基づき必要事項を記入し、所属連絡所へ提出してください。利用申請書は、連絡所で受け付けた後、各地区協議会を通じて（第6地区の場合は直接）センターへ送付されます。

センターでは1で述べた利用資格、目的に関し審査を行ない、適当と認めた者にはその利用を承認し、センター指定の課題番号を与え、利用者に交付します。この申請過程は次の図のようになります。



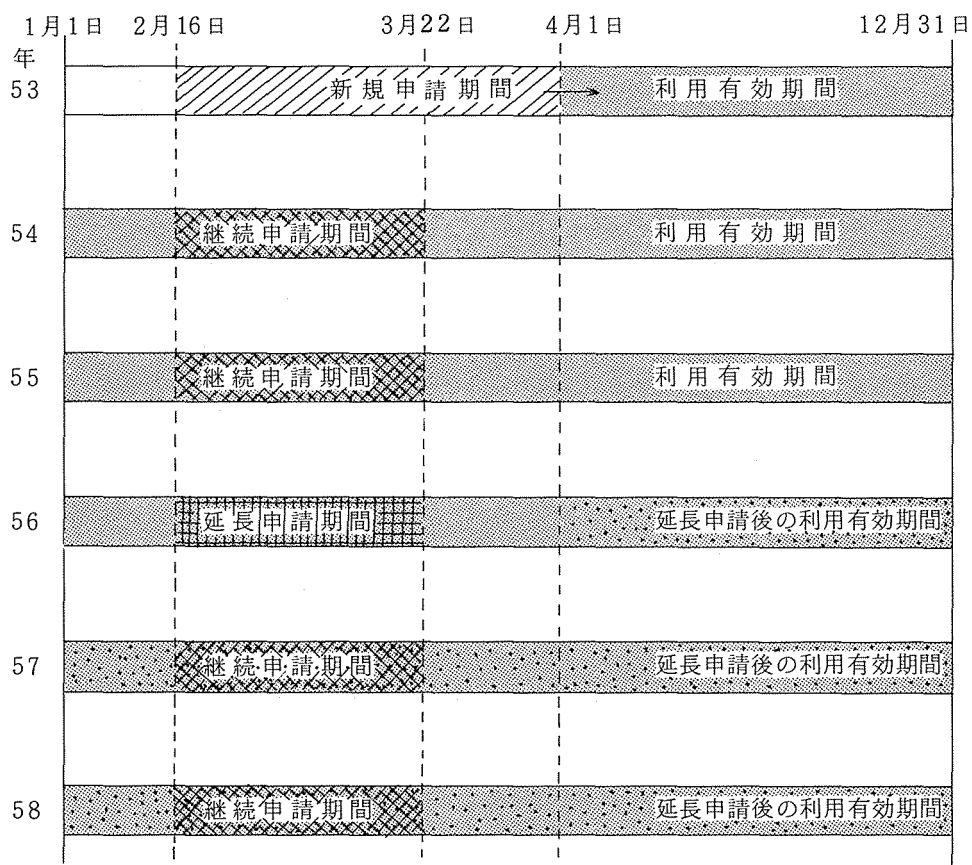
課題番号の有効期間は新規利用申請に対する承認の日より3回目の3月31日（年度末日）とします。ただし、各年度の切り換え時においては利用（課題）の継続申請を行なっていた
く必要があり、この継続申請は新年度の利用（課題）申請の受付開始日（2月16日、日
曜日の場合は翌日）から年度の変わる10日前（3月22日、日曜日等の場合は前日）まで
に行なってください。継続申請が期間中になされなかった場合には利用（課題）の停止申請
と同様の手続きという考えのもとに課題番号は抹消されすべての利用承認は取り消されます。

3回目の3月31日を過ぎてもなお、引き続き利用したい場合には、新規申請ということ
になりますが、ファイル等の継続問題があり、旧課題番号をそのまま使用できるように処理
しますので、手続きとしては延長申請をとっていただくことにします。当然、それまで使用
していた課題番号をそのまま使用されることになります。この後の利用有効期間、継続の手
続きに関することは、新規申請に同じであり、申請受付期間は継続申請の場合と同じです。

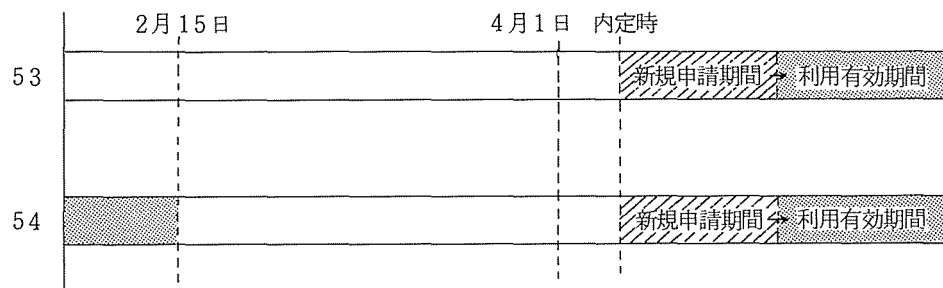
なお、科学研究費による利用（課題）申請については、上記、継続申請及び、延長申請は
不可能であり、研究課題が同様であっても毎年度の新規申請を必要とし、課題番号も変わる
ことになります。又、科学研究費による申請の内、研究費を受けている者が代表者である場
合には、科学研究費補助金配分内定通知書の写しを、分担者である場合には、これと、科学
研究費補助金交付申請書の写しをそれぞれ添付することを義務付けます。

上記、利用有効期間に関することは、例えば、次図のようになります。

。 科学研究費以外による利用有効期間



。 科学研究費による利用有効期間



利用（課題）の承認を受けた後、申請者の所属、身分の変更等、申請書に記載した事項に変更を生じた場合は、速やかにその旨、変更申請として提出してください。又、利用有効期間中に利用を停止する場合には停止申請を行なってください。

課題番号は、センター利用の許可証に相当するものであり、ジョブの依頼、処理結果の受取り、オープンパンチ室、特殊端末室、ドラフターの利用、負担金通知等、すべての利用、及びサービスの基本的なものになっています。従って、当該研究課題にかかる計算以外のために使用し、または、他人に使用させてはなりません。利用者は自己の責任において課題番号の適正な使用をされるよう望みます。課題番号の不正使用によるジョブ受渡しの際の事故、あるいは、利用負担金に関するトラブル等についてセンターは責任を負うことができません。又、このような違反の事実が発見された場合には、利用承認の取り消し、または一定期間利用を停止されることがありますので御留意願います。

3. 各種申請書

本センターの利用に関する申請書類には次に示すものがあります。

- ① 大阪大学大型計算機センター利用申請書
- ② 支払責任者及び経理責任者申請書
- ③ 大阪大学大型計算機センター利用申請に係るコード表（手書きOCR用紙）
- ④ パスワード変更申請書
- ⑤ ファイル申請書
- ⑥ 共同研究者申請コード表（手書きOCR用紙）
- ⑦ 課題の研究補助者申請書

これらの申請書について以下に概要を述べます。詳しい記入要領等については、後記、各申請書記入要領を参照してください。

3-1 大阪大学大型計算機センター利用申請書

「2. 利用（課題）の申請と承認」の項を参照してください。

3-2 支払責任者及び経理責任者申請書

利用申請を新規に行なう際には、必ずこの申請書を添付してください。支払責任者とは利用者が支払うべき利用負担金について、その責任を引き受ける者であり、経理責任者とは、予算執行の法的な権限を有する事務担当者（経理・会計掛長等）です。

3-3 大阪大学大型計算機センター利用申請に係るコード表（手書きOCR用紙）

利用申請、支払責任者及び経理責任者申請を行なう際（新規・変更に限る）には必ず添付してください。

3-4 パスワード変更申請書

パスワードはシステム使用の際に必要となります。新規に利用申請を行なう際には「大阪大学大型計算機センター利用申請に係るコード表」の記入項目の一つとして申請されます。この後のパスワードの変更は任意の時期に何度でもできます。変更申請はパスワード変更申請書で行なってください。

3-5 ファイル申請書

専用ファイルは、プログラム、データ等の預け入れを目的としたものです。契約リンク数に制限はありませんが、センターの運用上問題のあると思われるものについては照会の後、適切と認めたものについて承認します。利用期限は利用申請にかかわり、継続、延長が行なわれる限り有効です。

3-6 共同研究者申請コード表（手書きOCR用紙）

共同研究者とは、利用申請者（共同研究代表者）と同じ課題のもとにグループになって研究する方をいいます。共同研究者は、本センターの利用資格を有する方に限ります。

3-7 課題の研究補助者申請書

研究補助者とは利用（課題）申請者又は、共同研究者に依頼され、承認されている課題に関してオープン入出力装置の使用、カードの穿孔、ドラフターの操作などを行なう方です。

4. 提出する申請書の区分

申請書類 申請の種類		大阪大学 大型計算機 センター 利用申請書	支払責任者及び 経理責任者 申請書	大阪大学 大型計算機 センター 利用申請書 (手書きOCR用紙) に係るコード表	ファイル 申請書	パスワード 変更申請書	共同研究者 申請書 (手書きOCR用紙)	課題の研究補助者 申請書
利用（課題）申請	新規	○	○	○				
	変更	○		○				
	継続	○	○					
	停止	○						
	延長	○	○					
支払責任者及び経理責任者申請		変更	○	○				
パスワード変更申請						○		
ファイル申請	新規				○			
	変更				○			
	停止				○			
共同研究者申請	新規						○	
	追加						○	
	取消						○	
課題の研究補助者申請								○

5. 利用報告書について

利用者はセンターを利用した結果、又は経過の報告書を研究課題ごとに毎年度末にセンター長まで提出しなければなりません。なお、利用有効期間中に申請した研究課題が終了した場合には、すみやかに報告書を提出しなければなりません。

Ⅱ．大阪大学大型計算機センター利用 申請書記入要領

1. 申請の種別

- (1) 新規：利用（課題）の申請をするのが最初である場合は新規申請となります。新規に✓印し、課題番号以外のすべての項目に記入してください。
- (2) 継続：年度（利用有効期間＝3年以内の各年度）を異なって、同一研究課題のもとに当センターを利用する場合には、新年度の利用申請受け付け開始（2月16日、日曜日の場合は翌日）から、年度の変わる10日前（3月22日、日曜日等の場合は前日）の間に継続申請を行なってください。継続の項に✓印し、使用中の課題番号、新年度予算額、氏名、所属、職名、指導教官の必要な場合は指導教官欄（太線枠の項目）を記入し、捺印して申請してください。その他の欄に記入する必要はありません。この申請があると、新年度の課題番号は現用のものを継続し、同じ番号を使用することになります。なお、上記、継続申請受付期間中に申請のない場合は、課題番号は抹消され、停止申請と同じ取り扱いになりますので、その後の利用申請は新規として行なってください。
- (3) 変更：新規、あるいは延長として申請した際に記入した事項（研究課題を除く）に変更があった場合は変更の項に✓印し、変更のあった個所、使用中の課題番号、氏名を記入し捺印して申請してください。その他の欄に記入する必要はありません。
- (4) 停止：利用有効期間中であって年度がわりでない時期に、利用を停止したいという場合には、停止に✓印し、停止する課題番号、氏名を記入し、捺印して申請してください。その他の欄に記入する必要はありません。この申請があると課題番号は抹消され、利用は停止されます。なお、継続の項でも述べたとおり、年度終了時に利用停止する場合は停止申請は必要ありません。
- (5) 延長：3年の利用有効期間が切れた時、及び利用有効期間中に新しい研究課題となる時点で、それまで使用していた課題番号をファイル等の関係で続いて使用したい場合は延長申請を行なってください。延長に✓印し、延長する課題番号、他、新規申請と同様、全部の項目に記入してください。なお、上記理由による場合に新規にチェックして申請された場合には、センターとしては、まったくの新規扱いし、使用されていた課題番号、ファイル等は抹消されますので、チェック項目を間違わないよう御留意ください。

- (6) 継続：3年の利用有効期間内における継続申請時（年度変わり）には、利用者自身の所
と変
更が 属の変更等、継続申請と重複する場合も多いかと思われます。このような場合は
同時 継続と変更双方に✓印し、継続の際に必要な記入事項と変更した個所を記入して
に行 ください。
なわ
れる
場合

なお、申請の種別にかかわらず、申請書は所属連絡所を経由し、連絡所は必要事項を記入
します。又、第6地区以外の地区から申請する場合には、連絡所を経由した後、地区協議会
を通じてセンターへ送られます。利用承認書は所属連絡所を通じて利用者に渡されます。

2. 課題番号

継続、変更、停止、延長の場合に、承認され、使用している課題番号を記入してください。

3. 予算額

一つの研究課題について利用申請を新規、継続、延長で行なった一年度中に使用できる予
算の限度額を記入してください。なお、千円未満の値はシステム上登録できませんので予算額
の範囲は1千円～9999千円となります。

4. 所 属

実際に所属する部局名、学部、学科もしくは附属教育研究施設、又は研究所まで記入して
ください。

5. 職 名

身分コード表の該当するものを記入してください。大学院生の場合は修士、博士課程の別
と学年まで記入してください。

6. 指導教官

利用（課題）申請者が、大学院生、研究生等の場合は指導教官を必要とします。その他の
場合（文部教官等）は必要としないので空白にしておいてください。

7. 連絡先

実際に所属している部局とは別に、現在、そこにて研究に従事している部局をいいます。
これは、広報等の発送時に使用します。実際の所属と同一の場合には空白にしてください。

8. 電話番号・所在地

連絡先の電話番号、所在地を記入してください。

9. 研究課題及びその説明

必ず和文で記入してください。英文の場合は和訳を併記してください。

10. その他注意事項

- (1) この申請書の他に新規、変更の場合にはコード表の提出を必要とします。コード表の記入に関しては、Ⅳ．大阪大学大型計算機センター利用申請に係るコード表記入要領を参照してください。
- (2) 承認されると承認書を送付します。これには、課題番号と利用有効期間が記載されていますが、その他申請書に記入した事項は記載されませんので、必要な方は写しをとっておいてください。

Ⅲ. 支払責任者及び経理責任者申請書記入要領

1. 申請の種別

- (1) 新規：利用（課題）申請者が利用申請を新規、あるいは延長として行なう際には、支払責任者及び経理責任者の新規申請を必要とします。新規に✓印し、各欄に必要事項を記入してください。
- (2) 継続：利用（課題）申請者が年度（利用有効期間＝３年以内の各年度）を異なって同一研究課題で利用（課題）申請し、支払責任者、経理責任者とも前年度と変わらない場合には継続申請してください。継続に✓印し、課題番号、利用申請者関係、支払責任者氏名及びその捺印、経理責任者氏名及びその捺印の各欄に記入してください。その他の欄に記入する必要はありません。
- (3) 変更：新規として申請した際に記入した事項（利用申請者関係は除く）のいずれかに変更のあった場合は、変更✓印し、変更のあった個所、及び課題番号、利用申請者関係に記入して申請してください。その他の欄に記入する必要はありません。
- (4) 継続と変更：年度が変わる時には、経理責任者が変わることが多々あると思われます。が同時に行 そのような場合等には継続と変更双方に✓印し、継続の項で述べた項目に

なわれる に変更した個所を追加記入して申請してください。
場合

2. 課題番号

継続、変更申請と、新規のうちで利用（課題）申請を延長として行なった際には承認され使用している課題番号を記入してください。新規利用申請中である場合には申請中に✓印してください。

3. 支払責任者

支払責任者とは各利用者が支払うべき利用負担金について、その責任を引き受けるもので、大学の場合は一般には研究全般に関して管理を持つ専任の教官です。

負担経費区分が科学研究費である場合、代表者、分担者の何れか該当する方に✓印をつけ、代表者である場合には、科学研究費補助金配分内定通知書の写しを、分担者である場合には、これと、科学研究費補助金交付申請書の写しを添付してください。

共同研究者の利用負担金の支払い義務も負います。

4. 経理責任者

経理責任者とは、予算執行の法的な権限を有する事務担当者です。例えば、経理、会計課長、経理・会計掛長などです。

5. 職 名

身分コード表、経理責任者職名コード表の該当するものを記入してください。

6. その他注意事項

- (1) この申請書のほかに新規、変更申請の場合には、コード表の提出を必要とします。コード表の記入に関しては IV. 大阪大学大型計算機センター利用申請に係るコード表記入要領を参照してください。
- (2) この申請書は、お返ししませんので記載事項を控えたい方は、提出前に写しをとってください。

Ⅳ. 大阪大学大型計算機センター利用 申請に係るコード表記入要領

(手書きOCR: optical character reader用紙)

このコード表は、利用申請、支払責任者及び経理責任者申請の新規、変更申請を行なう際には、必要事項を記入して提出してください。

なお、この用紙は、光学文字読取装置にかけられ、ここに記入された文字自身を光学的に読み取って処理するものです。記入に際しては、文字記入例を参照して、できるだけ、これに近い文字を描くよう心がけてください。又、筆記具はHBの鉛筆と限定されています。用紙の運搬も、汚れぬよう、又折り曲げぬよう心がけてください。

1. 申請の種類別

- (1) 新規：新規と課題番号申請中の項に✓印し、課題番号以外の全ての項目に記入してください。
- (2) 変更：変更に✓印し、現用の課題番号、変更項目を記入して申請してください。その他の項目は空白にしてください。

2. 利用申請者

(1) 課題番号

変更の場合は現用の課題番号を記入してください。新規の場合は空白にしてください。

(2) パスワード

パスワードは課題番号と同様、計算依頼する際には必ず要るものです。この必要となる部分と、記入要領は、Ⅴ. パスワード変更申請書記入要領に記す通りです。パスワードの新規申請は本コード表をもってこれに変えます。すなわち、申請の種類で新規にチェックされた場合には必ず記入し、パスワードは忘れないよう控えておいてください。

(3) 予算額

利用申請書の予算の項に同じです。右詰め、ゼロを省略せずに記入してください。なお、千円未満の値はシステム上登録できませんので、予算額の範囲は、1千円～9999千円となります。

例：5万円

0 0 5 0 0 0 0

(4) 氏 名

カタカナで左詰めで記入してください。濁点及び半濁点・長音は1字として記入し、姓と名の間は1桁空けてください。

例：大阪三郎

オ	オ	サ	カ		サ	フ	ゝ	ロ	ウ						
---	---	---	---	--	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--

(5) 研究分野コード

研究分野コード表の該当するものを記入してください。

(6) 所属コード

各連絡所備え付けの課題登録コード表から次の区分にしたがって該当するコードを正確に記入してください。

1～6桁：国公立大学、大学院、短期大学、工業高等専門学校、又は研究所コード

7～9桁：学部又は大学院研究科コード

10～13桁：学科又は大学院専攻コード

例：大阪大学工学部機械工学科

1	1	6	0	0	1	1	3	0	5	0	0	2
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

大学コード 学部コード 学科コード

(7) 連絡先コード

記入要領は所属コードに同じです。連絡先が所属に同様の場合は空白にしてください。

(8) 身分コード

身分コード表の該当するものを記入してください。

(9) 連絡先電話番号

連絡先の電話番号を左詰めで、内線まで記入してください。

例：06-877-5111 内線 2817

0	6					8	7	7	5	1	1	1	2	8	1	7
---	---	--	--	--	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

市外局番 局番 番号 内線

3. 支払責任者

- (1) 氏 名

2-(4)に同じ

- (2) 所属コード

2-(6)に同じ

- (3) 負担経費区分

「支払責任者及び経理責任者申請書」の負担経費区分にある番号を記入してください。

例：国立学校校費による申請の場合



- (4) 身分コード

身分コード表から該当するコードを記入してください。

4. 経理責任者

- (1) 氏 名

2-(4)に同じ

- (2) 職名コード

経理責任者職名コード表から該当するコードを記入してください。

- (3) 所属コード

2-(6)に同じ

V. 共同研究者申請コード表記入要領

(手書きOCR: optical character reader用紙)

共同研究者とは、共同研究代表者〔利用(課題)申請者〕と同じ研究課題のもとに、グループになって研究を行ない、同一の課題番号で計算機利用を行なう方をいいます。共同研究者は本センターの利用資格を有する方に限ります。

なお、この用紙は、大阪大学大型計算機センター利用申請に係るコード表と同様、光学文字読取装置にかけられ処理されます。取り扱い及び、記入に際しては充分注意して行なってください。

1. 申請の種類

- (1) 新規：共同研究者申請を行なうのが、はじめてである場合には、新規に✓印し、名欄に記入してください。
- (2) 追加：新規として申請した共同研究者に追加のある場合は、追加に✓印し、課題番号、利用（課題）申請者、支払責任者、経理責任者の項及び追加する共同研究者を記入して申請してください。なお、新規として申請する共同研究者が4名以上になる場合、一枚の様式では書ききれませんので、超加する分については追加申請として行なってください。
- (3) 取消：申請した共同研究者が年度途中で、辞職・退学等の理由によって、共同研究にたずさわらなくなった場合は、取消に✓印し、利用申請者の氏名及び捺印、課題番号、取消する共同研究者氏名の項目について記入し、提出してください。

2. 課題番号

承認された課題番号のある場合に記入してください。又、利用（課題）申請と同時に共同研究者申請が行なわれる場合は、課題番号申請中に✓印してください。

3. 共同研究者関係

- (1) 氏名：漢字とカタカナで記入し、捺印してください。
- (2) 指導教官：共同研究者が大学院生、研究生等の場合には指導教官を必要とします。それ以外の場合（文部教官等）は必要としないので空白にしておいてください。
- (3) 連絡先コード：広報等の発送時に使用するものです。共同研究者の連絡先部局を各連絡所備え付けの課題登録コード表を参照のうえコードで記入してください。
- (4) 職名：身分コード表のいずれか該当するものをコードで記入してください。

4. その他注意事項

- (1) この申請は、利用（課題）申請等とは別で年度を異なつての継続を認めていません。利用（課題）申請を継続として行なう際にも新規として共同研究者申請を行なってください。
- (2) 代表者のもとに利用する共同研究者には計算機利用通知書は送られません。すべて代表者の利用として一括されますので御承知おきください。
- (3) 利用者の都合で共同研究の場合であっても、各人が利用（課題）申請をすることができます。
- (4) この申請書はお返ししませんので、記載事項を控えたい方は、提出前に写しをとってく

ださい。

Ⅶ．パスワード変更申請書記入要領

1. パスワードは課題番号と同様、計算依頼する際には必ず要るものです。必要となる部分は次に示す場合です。
 - (1) バッチ・モードでジョブを処理する場合
\$JOB、あるいは\$USERIDカードのパラメータとして必要です。
 - (2) T・S・Sを使用する場合
LOG ON（システムとの会話開始）時に必要です。
2. パスワードは12文字以内の英数字（カタカナ、特殊記号は不能）で、途中に空白を入れずに左詰めで記入してください。
3. この申請のできるものは、利用（課題）申請者に限ります。
4. パスワードの新規申請は、大阪大学大型計算機センター利用申請に係るコード表の一項目として記入し、申請してください。その後のパスワードの変更については、任意の時期に何度でもできます。
5. この申請がなされた後の計算依頼は、システムへの登録日の関係がありますので、本センター・共同利用掛で確認のうえ依頼してください。
6. この申請書類は返却しませんので、提出前にパスワードは控えておいてください。

Ⅶ．ファイル申請書記入要領

1. 申請の種別

- (1) 新規：新しくファイルを開設する場合には、新規に✓印し、各項目に必要事項を記入し申請してください。
- (2) 変更：ファイル使用の承認を受けた後、契約リンク数、希望開設期間（終了時期が記載されていた場合）を変更するとき、変更✓印し、氏名、課題番号、変更する個所の各項目に記入して申請してください。
- (3) 停止：利用（課題）の有効期間中にファイルの使用を停止したいとき、停止に✓印し、氏名、課題番号の項目に記入して申請してください。ファイル使用の負担額は、この申請書に基づき、契約リンク数について負担していただくことになります。

課題の利用有効期間中においてはファイルの停止申請がない限り、ファイル負担額は徴収されますので御留意ください。

2. 課題番号

承認を受けた課題番号があり、その課題番号についてファイル申請を行なうとき記入してください。又、利用（課題）の新規申請と同時にファイル申請が行なわれる場合には課題番号申請中に✓印してください。

3. 氏名・職名・所属

Ⅱ．大阪大学大型計算機センター利用申請書記入要領の同項目を参照してください。

4. 希望開設期間

専用ファイルの開設期間は、年度変わり等において利用（課題）の継続、延長申請が行なわれ、利用（課題）の有効期間である限りファイルは継続されていきます。したがって、利用申請して承認された課題番号にかかわって、何年にもわたりファイルを利用するような場合には開始時期のみで終了時期を記入する必要はありません。ただしファイルを使用する期間が明確である場合には、終了時期をも記入してください。終了時期にきますとファイルは抹消されます。

なお、課題の利用有効期間にかかわらず、ファイルの使用を停止するのは、申請の種別で述べた。ファイルの停止申請と、ファイルの新規、変更申請の際に終了時期を記入することの2つの方法があります。

5. 契約リンク数

契約リンク数に制限はありませんが、センターの運用上問題のあると思われるものについては、照会の後、適切と認めたものについて承認します。なお、契約リンク数は、1リンク（約3840W）単位で記入してください。

6. その他注意事項

- (1) 本申請は、利用（課題）申請者が行なってください。共同研究者等による申請は認められません。
- (2) 承認されると、承認書を送付します。ファイルの使用はこの承認書が申請者にとどいた時点から有効です。

Ⅷ. 主要コード表一覧

1. 研究分野コード表

研究分野コードは次表により定められた3桁の数とする。Lを100位、Mを10位、Nを1位として記入のこと。

L.Mは次表による

Nは次表による

L	M	L	M	L	M
1	1 文 学	4	1 核・素粒子	7	1 計 測
	2 歴 史		2 分子・原子		2 通 信
	3 芸 術		3 結 晶		3 制 御
	4 行 動		4 物 性		4 情 報
	5 教 育		5 光		5 システム
	6 法 律		6 流 体		6 認 識
	7 政 治		7		7
	8 経 済		8		8
	9 そ の 他		9 そ の 他		9 そ の 他
2	1 数 理	5	1 無機化学	8	1 医 学
	2 論 理		2 有機化学		2 保 健
	3 統 計		3 金 属		3 環 境
	4		4 音		4 織 維
	5		5 電 子		5 食 品
	6		6 電 磁 気		6
	7		7		7
	8		8		8
	9 そ の 他		9 そ の 他		9 そ の 他
3	1 気 象	6	1 機 械	9	1 動 物
	2 海 洋		2 建 築		2 植 物
	3 地 質		3 土 木		3 生 物
	4 資 源		4 構 造		4 農 芸
	5 地 球		5 輪 送		5 水 産
	6 宇 宙		6		6 蓄 産
	7		7		7 林 産
	8		8		8
	9 そ の 他		9 そ の 他		9 そ の 他

	理 論	実 験	両 方
基 礎	1	2	3
応 用	4	5	6
両 方	7	8	9

2. 身分コード表

コード	身 分	コード	身 分
0 1	教 授	1 2	研 究 生
0 2	助 教 授	1 3	委 託 研 究 生
0 3	講 師	1 4	研 修 員
0 4	助 手	1 5	技 術 補 佐 員
0 5	副 手	1 6	研究員（学術振興会）
0 6	教 務 技 官	1 7	研 究 員 補
0 7	教 務 員	1 8	教 務 補 佐 員
0 8	技 官（事務官）	1 9	
0 9	技 術 員	2 0	
1 0	大 学 院 生（博士）		
1 1	大 学 院 生（修士）	9 9	そ の 他

3. 経理責任者職名コード表

コード	職 名
1	学 校 長
2	事 務 長
3	会 計 課 長
4	経 理 課 長
5	経 理 掛 長
6	会 計 掛 長
7	用 度 掛 長
8	研究助成掛長
9	

4. 大学コード・大学院コード抜粋（第6地区内主要学校）

大 学 名	大学コード	大学院コード	大 学 名	大学コード	大学院コード
大 阪 大 学	116001	516001	関 西 大 学	136016	536016
大阪教育大学	116003	516003	近 畿 大 学	136019	536019
神 戸 大 学	116004	516004	関 西 学 院 大 学	136030	536030
神戸商船大学	116005	516005	甲 南 大 学	136032	536032
奈良教育大学	116006	—	神戸女子薬科大学	136038	536038
奈良女子大学	116007	516007	聖 和 女 子 大 学	136041	536041
和 歌 山 大 学	116008	516008	岡 山 理 科 大 学	136049	536057
岡 山 大 学	116009	516009	兵 庫 医 科 大 学	136058	—
徳 島 大 学	116010	516010	大阪大学医療技術 短 期 大 学 部	216001	—
愛 媛 大 学	116012	516012	大阪信愛女学院短期大学	236010	—
大 阪 市 立 大 学	126002	526002	大阪電気通信大学 短 期 大 学 部	236013	—
大阪府立大学	126003	526003	奈良工業高等専門学校	316002	—
奈良県立医科大学	126008	526008	津山工業高等専門学校	316004	—
大 阪 経 済 大 学	136004	536004	阿南工業高等専門学校	316005	—
大 阪 歯 科 大 学	136008	536008	高松工業高等専門学校	316007	—
大阪電気通信大学	136012	—	新 居 浜 工 業 高 等 学 校	316008	—
大 阪 薬 科 大 学	136013	536058	国立民族学博物館	416001	—

5. 学部コード・大学院研究科コード抜粋

050	教育学部	190	薬学部
060	教養部	200	短期大学部
070	文学部	212	保健管理センター
076	人間科学部	601	微生物病研究所
078	言語文化部	602	産業科学研究所
110	理学部	603	社会経済研究所
130	工学部	604	蛋白質研究所
132	鉱山学部	605	溶接工学研究所
134	基礎工学部	711	工作センター
136	工芸学部	712	低音センター
138	電気通信学部	713	超高压電子顕微鏡センター
150	商船学部	714	レーザー核融合研究センター
160	農学部	715	核物理研究センター
180	医学部	900	医学部附属病院
182	歯学部	902	歯学部附属病院
500	文学研究科	539	商船学研究科
510	法学研究科	550	理学研究科
516	経済学研究科	555	工学研究科
520	人間科学研究科	558	基礎工学研究科
		565	医学研究科
		566	薬学研究科
		567	歯学研究科

6. 学科コード・大学院専攻コード抜粋

1 0 0 1	法学科	5 5 0 4	冶金工学科
1 1 0 1	経済学科	5 5 0 5	金属材料工学科
1 1 0 4	経営学科	5 6 0 1	応用物理学科
1 1 1 7	人間科学科	5 6 0 4	制御工学科
1 2 0 2	社会科学科	5 6 0 9	原子力工学科
1 3 0 1	文学科	5 9 0 3	造船学科
1 4 0 1	史学科	5 9 1 3	生物工学科
1 5 0 1	哲学科	7 0 0 1	医学科
1 5 0 3	美学科	7 0 0 6	歯学科
1 9 0 4	人文科学科	7 0 0 7	薬学科
3 0 0 1	数学科	7 0 0 8	製薬科学科
3 1 0 1	物理学科	7 0 2 1	病理科
3 1 0 9	物性物理工学科	7 0 2 3	内科
3 2 0 1	化学科	7 0 2 4	産業衛生学科
3 2 0 2	高分子学科	7 0 2 5	産婦人科
3 3 0 1	生物学科	7 0 2 6	神経精神科
3 9 0 4	自然科学科	7 0 2 8	環境衛生科
5 0 0 2	機械工学科	7 8 0 7	保健体育科
5 5 0 5	精密工学科	8 0 0 2	電子計算機室
5 0 1 2	産業機械工学科	8 0 0 3	共通講座
5 1 0 2	土木工学科	9 0 0 1	理学部附属原子核研究施設
5 1 1 3	建築工学科	9 0 0 2	医学部附属癌研究施設
5 1 1 5	環境工学科	9 0 0 3	医学部附属高次神経研究施設
5 2 0 2	電気工学科	9 0 0 4	医学部附属分子遺伝学研究施設
5 2 0 4	通信工学科	9 0 0 5	工学部附属電子ビーム研究施設
5 2 0 7	電子工学科	9 0 0 6	工学部附属超高温理工学研究施設
5 2 1 4	溶接工学科	9 0 0 7	工学部附属レーザー工学研究施設
5 2 1 8	情報工学科	9 0 0 8	微生物病研究所附属感染動物実験施設
5 3 0 5	合成化学科	9 0 0 9	産業科学研究所附属放射線実験所
5 3 0 8	醸酵工学科	9 0 1 0	微生物病研究所附属菌株保存施設
5 3 1 3	石油化学科	9 0 1 1	タンパク質研究所ペプチドセンター
2 3 0 1	教育学専攻	4 1 1 1	人間科学専攻
2 6 0 1	経済学専攻	4 2 0 1	土木工学専攻
2 6 1 5	公共経済学専攻	4 2 2 0	建築工学専攻
2 7 0 1	経営学専攻	4 2 2 1	建築学専攻
4 0 0 1	数理系	4 2 4 0	金属工学専攻
4 0 0 2	数学専攻	4 2 4 1	金属材料工学専攻
4 0 1 0	物理系	4 2 5 0	機械工学専攻
4 0 1 1	物理学専攻	4 2 5 2	機械物理学専攻
4 0 1 5	応用物理学専攻	4 2 5 3	産業機械工学専攻

4 0 3 0	化学系	4 2 6 0	精密工学専攻
4 0 3 1	化学専攻	4 3 0 1	電気工学専攻
4 0 5 0	生物学専攻		
4 0 6 0	地学専攻		
4 3 0 5	電子工学専攻	6 0 0 1	生理系
4 3 1 1	通信工学専攻	6 0 0 3	病理系
4 4 0 1	応用化学専攻	6 0 0 6	社会医学系
4 4 0 2	工業化学専攻	6 0 2 0	内科系
4 4 0 3	化学工学専攻	6 0 2 2	外科系
4 4 0 4	合成化学専攻	6 0 4 0	歯学基礎系
4 4 0 8	石油化学専攻	6 0 4 2	歯学臨床系
4 4 2 0	応用力学専攻	6 0 7 1	形態学系
4 4 3 0	原子工学専攻	6 1 0 1	薬学専攻
4 4 3 1	原子力工学専攻	6 2 0 1	農学専攻
4 5 0 1	制御工学専攻		
4 5 0 2	情報工学専攻		
4 6 0 5	冶金学専攻		
4 6 0 6	溶接工学専攻		
4 6 0 7	造船学専攻		
4 6 2 0	造船工学専攻		
4 6 3 1	機関学専攻		
4 6 4 0	航空航学専攻		
4 6 6 1	物理工学専攻		
4 7 0 1	高分子化学専攻		
4 7 0 2	高分子工学専攻		
4 7 0 4	繊維化学専攻		
4 7 0 6	繊維工学専攻		
4 8 0 2	環境工学専攻		
4 8 1 3	醸酵工学専攻		
4 8 1 5	プロセス工学専攻		
4 8 2 3	経営工学専攻		

大阪大学大型計算機センター利用申請書

昭和 53 年 2 月 16 日

大阪大学大型計算機センター一長殿

貴センターの利用について「大阪大学大型計算機センターの利用に関する暫定措置を定める規定」に基づき下記の通りの通り申請します。

申請の種別	☒ 新規	☐ 継続	☐ 変更	☐ 停止	☐ 延長
課題番号					
予算額	50,000 円				

(継続の場合は本機種の項目のみ記入し所属連絡所等を経て提出してください)

氏名	大阪 三 郎		所 属	大阪 大学 工学 部 機械工 学 科 工 学 研 究 所
職 名	助 教 授	指導教官	氏 名	吹 田 市 大 守 山 田 上
連絡先	大学 工学 部 機械工 学 科 工 学 研 究 所	連絡先	市外局番 局 番 号 内 線	(06)(877)-(5111)(2817)
所在地	〒15655 吹田市大守山田上			
研究課題	(一般的、抽象的なものは避け、研究の内容を具体的に表わすもの) をできるだけ簡潔に記入すること			

※研究課題の具体的な内容を示してください

(ばく然としたものではなく、計算方式の種類及び、予測される研究の成果等、計算機を利用して、何をどこまで明らかにしようとしているかがわかるように具体的に説明すること。)

※研究成果を発表する予定の学会誌などの名称を書いてください

日本機械学会論文集

連絡所名	工学部	連絡先	連絡所責任者	木村 一郎
連絡先	〒15655	氏 名	氏 名	木村 一郎
連絡先	6092	年 月 日	年 月 日	2 月 18 日

第 一 次 協 議 会	第 二 次 協 議 会	第 三 次 協 議 会	第 四 次 協 議 会	第 五 次 協 議 会
協 議 会 長	協 議 会 長	協 議 会 長	協 議 会 長	協 議 会 長
協 議 会 員	協 議 会 員	協 議 会 員	協 議 会 員	協 議 会 員

支払責任者及び経理責任者申請書

昭和 53 年 2 月 16 日

大阪大学大型計算機センター一長殿

下記のとおり支払責任者及び経理責任者を申請します。

申請の種別	☒ 新規	☐ 継続	☐ 変更
課題番号			
課題番号申請中	☒		

利用申請者	氏 名	大阪 三 郎	所 属	大阪 大学 工学 部 機械工 学 科 工 学 研 究 所
支払責任者	職 名	助 教 授	氏 名	吹 田 市 大 守 山 田 上

支払責任者	氏 名	武 田 誠 治	所 属	大阪 大学 工学 部 機械工 学 科 工 学 研 究 所
支払責任者	職 名	教 授	氏 名	吹 田 市 大 守 山 田 上
支払責任者	負担	① 国立学校校費 2. 研究所校費 3. 附属病院校費 4. 文部省所管一般会計 5. 公私立学校校費 6. 科学研究費 (種類:)	科学 研究 費 の 場 合	代 表 者 分 担 者
支払責任者	区分	(内定通知年月日: 年 月 日)		

経理責任者	氏 名	山 田 太 郎	所 属	大阪 大学 工学 部 機械工 学 科 工 学 研 究 所
経理責任者	職 名	会 計 掛 長	氏 名	吹 田 市 大 守 山 田 上
経理責任者	所在地	〒15655	氏 名	吹 田 市 大 守 山 田 上

。利用者、指導教官、支払責任者、経理責任者が異なる部局に所属する場合は、それらの間の関係を示してください。

申請の種類: ☒ 新規, ☐ 変更

(大阪大学大型計算機センター)

☒ 課題番号申請中

大阪大学大型計算機センター利用申請に係るコード表 (昭和53年2月16日)

この用紙は光学文字読取装置にかけますので汚したり、折り曲げたりしないでください。

利用申請者	課題番号	005AKA										センター記入	0	
	予算	50000										氏名 (カタカナ)	研究分野コード	1
	所属コード	1160011305002										連絡先コード (所属と同じ場合記入不要)	615	
	大学コード	1160011305002										大学コード	2	
支払責任者	身分コード	02										連絡先電話番号	3	
	市外局番	06										局番	8775112817	
経理責任者	氏名 (カタカナ)	タケタセイジ										身分コード	4	
	所属コード	1160011305002										所属区分	1	
経理責任者	氏名 (カタカナ)	ヤマタタロウ										取組コード	6	
	所属コード	1160011305002										取組コード	6	

※記入上の注意

1. 必ずJHBで0.5mmのシャープペン、鉛筆を使用してください。
2. 特に注意する英字

EDTISVZ

3. 点、半点、長音は一字分として記入

※(文字記入例)

アイウエオ
カキクケコ
サシスセソ
タチツテト
ナニノネ
ハヒフヘフ
マミムメモ
ヤユヨ
ラリルレロ
ワヰヱ
ヲヱ
ヰヱ

0123456789 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

F-1

共同研究者申請コード表

この用紙は光学文字読取装置にかけますので汚したり、折り曲げたりしないでください。

利用申請者氏名 大阪三郎 (大)

支払責任者氏名 武田誠治 (大)

経理責任者氏名 山田太郎 (大)

☒ 課題番号申請中

申請の種類: ☒ 新規, ☐ 追加, ☐ 取消

共同研究者1	共同研究者氏名	青井博	カタカナ	アイエロシ	1
	指導教官氏名	大阪三郎	共同研究者連絡先	5160015554250	11
共同研究者2	共同研究者氏名	藤井信一	カタカナ	フシイシンイチ	2
	指導教官氏名	大阪三郎	共同研究者連絡先	5160015554250	11
共同研究者3	共同研究者氏名		カタカナ		3
	指導教官氏名		共同研究者連絡先		
共同研究者4	共同研究者氏名		カタカナ		4
	指導教官氏名		共同研究者連絡先		

※記入上の注意

1. 必ずJHBで0.5mmのシャープペン、鉛筆を使用してください。
2. 点、半点、長音は一字分として記入してください。

※(文字記入例)

アイウエオ
カキクケコ
サシスセソ
タチツテト
ナニノネ
ハヒフヘフ
マミムメモ
ヤユヨ
ラリルレロ
ワヰヱ
ヲヱ
ヰヱ

0123456789

ファイル申請書

昭和53年 2月16日

大阪大学大型計算機センター長殿

下記のとおり専用ファイルを申請します。

申請の種類別		☒ 新規 ☐ 変更 ☐ 停止	
課題番号		課題番号申請中	
氏名	大阪 三 郎	職名	助教
所属	大阪 大学院 工学 研究所 機械工 専攻	職名	助教
希望開設期間	開始時期	昭和53年 4月	
	終了時期	昭和 年 月	
ファイルの使用終了時期が明確な場合のみ記入してください。この場合、変更申請がない限り、司月末でファイルは消去されます。			
契約リンク数	50	リンク	
※ 備考			

④ 記載に当たっては黒インク 又は、黒ボールペンで鮮明に記入してください。

パスワード変更申請書

昭和53年 5月1日

大阪大学大型計算機センター長殿

下記のとおりパスワードの変更を申請します。

課題番号	6091839876		
氏名	大阪 三 郎	職名	助教
所属	大阪 大学院 工学 研究所 機械工 専攻	職名	助教

※ 旧パスワード

旧パスワード

※ 変更申請パスワード

変更申請パスワード

パスワードの記入については次のような間違いやすい文字は、はっきり区別してください。

数字の 0 と 英字の O,D

" 1 と " I

" 2 と " Z

英字の J と T

" V と U

(例)

00D1112ZJTVU

⑤ 記載に当たっては黒インク 又は、黒ボールペンで鮮明に記入してください。

利用負担金の改訂について

すでにセンターニュース等で御承知とは思いますが、本センターでは、現有システム３セットをACOS77シリーズNEACシステム800のモデル2に置き換えることになりました。

新システムは、昨年12月10日に搬入し、現場調整を終え、本年1月17日からバッチ処理（暫定）及びオンライン処理のテスト運用を行っており、4月から正式運用に入る予定です。

なお、このシステムの置き換えに伴い本年4月1日から処理能力の向上に見合う負担金の引き下げを行うことになりました。

おって、改訂の詳細については、現在、検討中ですが、決定次第ユーザーの皆さんに「お知らせ」あるいは「速報」等で広報致しますので御留意ください。

（庶務掛）

「速報」及び「お知らせ」の集録

〈速報No.48より〉

I ACOSシリーズ77NEACシステム800(S800)
の運用について

センター・ニュースNo.26にて広報しておりますが、その後、計画が若干早まる公算が強くなってまいりました。また、運用関係においても具体化した事項がありますのでお知らせします。

1. S800への移行計画等（具体化等した事項のみ）

年 月 日	
52.12.10	S800搬入（1演算処理装置）
53.1.17	S800でのバッチ処理（暫定）及びオンライン処理開始
53.4	S800でのオープンバッチ及び利用者入力サービス開始 カナ文字出力サービス開始（注1）
53.5	磁気テープのオープン利用開始（注2）
53.6	S800でのデマンド出力サービス開始

（注1） オープンバッチ処理を除きカナ文字出力サービスの運用を行います。

（注2） 9トラック2台と7トラック1台により運用することが決定しました。

（注3） そ の 他

既設の専用回線によるオンライン端末は、先頃、実施した端末移行調査に基づいて端局側と打合せのうえ移行を開始します。

2. S800の運用テスト開始について

S800の搬入に伴い、下記の要領で来年3月末まで運用テストを行い4月より正式運用を開始します。

記

(1) 開始時期 — 昭和53年1月17日（火） 10:00から開始

現調の進行状況によっては、この時期に間に合わないこともあるかと思われます。万が一、開始時期に遅れが生じる場合には、本センター及び豊中地区・中之島地区各データ・ステーションにその旨、掲示しますので御留意ください。

(2) サービス形態 — オープン入出力方式

現在の返却だな付近にカードリーダー1台、ラインプリンター1台を設置します。これを使用して、ジョブ入力、計算結果出力について利用者自身に管理していただく方式です。

詳細な利用方法については、設置場所付近に掲示します。

なお、クローズ・バッチ処理はS700のみで行います。特にS800においてクローズ・バッチ処理を行いたい場合は、その旨、明示のうえ依頼してください。

(3) ジョブ区分

来年3月からジョブ種別を設けて運用する予定ですが、それまでは、現在のS700と同様1種類とし、バッチジョブのLIMIT 値については、出力頁数・100頁を6000行と変更する他はS700に同じです。

(4) ジョブ制御言語 — S700と同様です。

(5) サービス時間

月・水・木・金	10:00～16:30
火	13:00～16:30
土	10:00～12:00

3. S800によるオンラインサービスについて

[1] 公衆電話網による利用開始について

(1) 開始時期 — 昭和53年1月17日(火) 10:00から開始

(2) 電話番号

内線 2866、2867 (ミニプリンター無手順)
2871 (グラフィック無手順)

外線 現在S700に接続されている(06)876-2479 (グラフィック無手順)をS800に移設します。

なお、グラフィック無手順の電話番号を呼び出し、キーボードプリンターを基本にした端末(ミニプリンター)として使用された場合、次に示す問題点がありますので、このような場合には、ミニプリンター無手順の電話番号で御利用ください。

- ① 紙テープ出力は行うが、出力時にERRORランプの点灯が多い。出力紙テープは正常に出力されている。
- ② 紙テープ入力を行うことができない。
- ③ カタカナの文字が正常に印字されない。

[2] 端末操作のS700との相違点について

事 項	S700 (現用)	S800
ACCESSサブシステムから出力されるメッセージ	SUCCESSFUL	削 除
CATALOGコマンドの出力ヘッダー	LIST OF CATALOG - ABC	LIST OF CATALOG - ABC ON 12/08/77 AT 10.082 (日付と時刻を付加)
他利用者カタログ (UMC) のリスト		もし、他利用者のUMCのレベルにMODIFYパーミッションが付いているなら、他利用者識別名にアスタリスク2つ(××)を付加して指定することにより、それに属するカタログ名、ファイル名をリストすることができる。 例) SYSTEM? CATA△ TOKYO××
LIST OLD NEW LIBコマンド 使用時に出力されるメッセージ	READY	削 除
CARDINのRUN △FILE内の編集情報	編集情報があっても通常のデータとして扱う。	\$SELECTAで指定したファイルに編集情報を入れることができる。
	一つのファイル内に複数の編集情報を入れようとしても先頭行しか入らない。	一つのファイル内に複数の編集情報を入れることができる。 編集情報の有効範囲は次に新しく編集情報が現われるか、またはEOFが現われるまでの間である。 ファイルの先頭から

CARDINのRUN
△FILE内の編集情
報

はじめて編集情報が現われるまで
の間は、もし\$SELECTAが
入れ子になっているなら入れ子の
一つ前のファイルで有効であった
編集情報が適用される。
編集情報の有効範囲 及び \$ S
ELECTAの使用の例を次に示
す。

(例) 編集情報の有効範囲

R U N △ F I L E
:
\$ S E L E C T A S 1
:
(E O F)

F I L E S 1
F O R M A T T I N G D A T A 1
: (範囲 1)
F O R M A T T I N G D A T A 2
: (範囲 2)
\$ S E L E C T A S 2
: (範囲 3)
F O R M A T T I N G D A T A 3
: (範囲 4)
(E O F)

F I L E S 2
: (範囲 5)
F O R M A T T I N G D A T A 4
: (範囲 6)
(E O F)

<u>編集情報</u>	<u>有効範囲</u>
FORMATTING DATA 1	範囲 1
FORMATTING DATA 2	範囲 2 3 5
FORMATTING DATA 3	範囲 4
FORMATTING DATA 4	範囲 6

編集情報と同じ形式のデータを通常のデータとしてファイルに含める事を可能
にするために新しく##DATAという編集情報形式を追加する。

		一般形式は次のとおりである。 <pre>## DATA △USER DATA</pre> これを編集する時 ## DATA を削除し USER DATA の部分だけを編集せずにバッチに渡す。
JOUTコマンドのSCAN機能、SCANコマンドの印字番号	4桁	6桁
サブシステムがアボートした時のABRTファイルの自動作成について	AFTにあらかじめABRTという名のファイルを登録しておかないとサブシステムがアボートした時サブシステムのダンプが取られない。	サブシステムがアボートした時AFT上に ABRT という名前のファイルが登録されていなくても サブシステムのダンプを取るのに十分な大きさのテンポラリファイル（ファイル名：ABRT）を作成する。 このテンポラリファイル（ABRTファイル）はログオフ時に解放される。ログオフ時にテンポラリファイルに対して出す質問（パーマネントファイルにセーブするか否か）はこのテンポラリファイル（ABRTファイルに限る）に対しては出さない。もしパーマネントファイルに保存したい時には、ログオフ前にPERMコマンドを使用してパーマネントファイルにコピーしておく必要がある。
アボートジョブ（ディフェード・セッション時）に対するDSTSコマンド出力メッセージの変更		新しいメッセージの形式は以下のとおりである。 <pre>NNNND-ABORTED BY DABT YYMMDD AT HH, TTT NNNND-ABORTED YYMMDD AT HH, TTT FOR REASON: (理由を示すメッセージ)</pre>

コマンド・ファイル処理 (CRUNコマンド)・ ディフェード処理(DRUN コマンド)のエラー ・メッセージ変更	CANNOT GROW COMMAND FILE	EXCESSIVE OUTPUT GENERATED
テキストエディタ(EDITOR コマンド・サブ システム)のCOPY・ CUTコマンドの文字列 処理の変更		CUT・COPYコマンドに文字列 を指定した場合の処理の方法を文字 列を含む行を対象とするように変更 する。たとえば、 CUTS:/ABC/:※ の指定 では、ポインタが指している行も含 めてそれ以降の行からABCという 文字列を全て削除し、かつワークフ ァイル(※ED2ファイル)にコピ ーする。削除後において文字列のサ ーチは、ストリングモードで行い処 理はその文字列を含む行全体に対し て行う。 すなわち、サーチはストリングモー ドで処理はラインモードで行う。 ただし、次の形式の文字列指定は従 来どおりであり行を対象とはしない。 CUTS:/XXX/, /YYY/
ファイル・アクセス方法	AFT(アペイラ ブル・ファイルテ ーブル) 上に登録されてい るファイルと同じ 名前を持つファイ ルをオープンしよ うとする場合には まずAFT上から	REMOVEコマンドを用いる必要 はない。 (例) ①AFTに登録されているファイル 名を出力する。 ※STATF LIST OF OPEN FILES:FILEA FILEB

	上からそのファイルをREMOVEコマンドを用いて取り除いておかねばならない。	②FILEAと同一名を持つファイルを異なったカタログからAFTに登録する。 ※GET/サブカタログ名/ FILEA
--	--	---

[3] ミニプリンター（NM3000）のセンター内の設置について

S700用として設置している3台の他に、来年1月17日から同3月末までの間、S800用ミニプリンター2台を接続、特殊端末室に設置しますので所定の申し込みをして利用してください。

4. S800ファイルの利用について

S800の運用テスト開始に伴って、この専用ファイル利用も可能となります。

専用ファイル契約は、添付のACOS800ファイル（暫定）申請書に必要な事項を記入し、共同利用掛へ提出してください。

現在、NEACシリーズ2200モデル700の利用者ファイル及びACOSシステム700（S700）の専用ファイルを契約使用されている方で、これをS800の専用ファイルに移行したい場合にもACOS800ファイル（暫定）申請書によって行うことができます。この移行方法は別表のとおりです。

システム	運用テスト期間（来年1月～3月末）	今年度終了時（来年度使用分）
N 2200 -700 から S 800	希望者のみ移行する。 利用者番号（UFNNN）をSMC（課題番号、以下同じ）として、その下に各ファイルをBATCHモードのクイックファイルとする。利用者はBATCH及びT・S・Sで各自のファイルにコピーする。 操作の詳細については、JOB受付に備えます。（内容については本号40頁に掲載しております。）	全利用者ファイルを移行する。 希望者は、運用テスト期間中の移行操作と同様の手順によって各自のファイルにコピーする。
S 700 から S 800	希望者のみ移行する。 現SMCの下にファイルを移行する。 移行作業はセンターで行います。	希望者のみ移行する。 新SMCの下に、現SMCの下にあるファイルを移行する。

	(端末の移行を控えている方は、できるだけ早く手続きをとってください。)	移行作業はセンターで行います。
S 800	新規申請のあったものについては現SMCの下にファイルを割り当てる。	希望者のみ新SMCの下に現SMCの下に作成したファイルを移行する。移行作業はセンターで行います。

(注) 1. 運用テスト期間中

希望によるS800へのファイル移行は、1契約ファイルにつき1回だけ行います。なおN2200-700の利用者ファイルからS800に移行された時のクイックファイルは来年3月末まで保存されます。

2. 年度切り換え時

運用テスト期間内にS700からS800への移行を行い、しかもS700のファイルを残存し使用されていても、S800への再移行はシステムの関係上行えません。

なお、S800ファイルの継続は可能です。

3. その他

S800ファイルからN2200-700利用者ファイル及びS700専用ファイルへの移行は行えません。

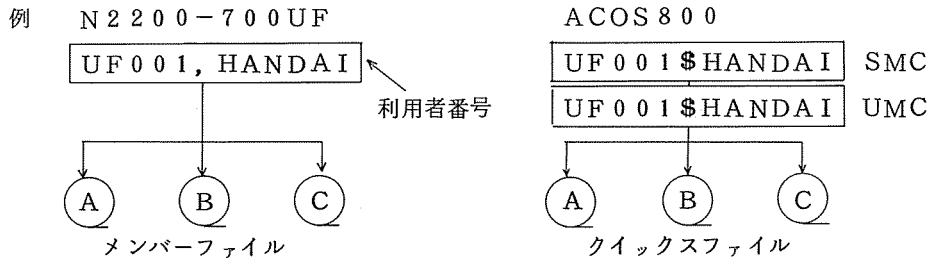
申請については、金曜日までに申請のあったもの（センターに到達したもの）は、翌週の月曜日から利用可能となるようにします。なお、本申請書に関しては承認書を送付しませんので、利用開始日を間違えぬよう御注意ください。

N2200-700 利用者ファイルからシステム800への移行操作法

NEAC2200モデル700の利用者ファイル（以下UFと呼ぶ）をACOSシステム800のファイルに移行する時の操作法は下記のとおりです。

記

UFは一時、UFの利用者番号をSMCとしてメンバー名をファイル名とし、BATCHモード、タイクファイルとして登録します。



このクイックファイルを各利用者ごとの課題番号（SMC）の下にファイルをコピーして使用するわけです。コピー方法としてはT・S・S BATCHどちらでも使用できます。

1. T・S・Sを使用してコピーする方法

この方法は端末を利用し、T・S・Sモードにコピーする方法で、BCDJISコマンドを使用します。

- ① まずログオンします。（端末によって方法が異なります。例 ミニプリンター等
\$\$\$CON, TSS）
- ② USER IDーと出力されると各自の課題番号を入力します。
PASSWORDーと出力されると各自のパスワードを入力します。
- ③ SYSTEM? と出力されますので続けてBCDJIS△UF001/TEST, R
:Aと入力します。
LINE NUMBERS? と出力されます。（移行ファイルはラインナンバが付いていません。）
もしラインナンバを作らないならキャリッジリターンのみ入力し、もしラインナンバを作るならAUTOを入力します。
- ④ TAB CHARACTERS AND SETING? と出力されますのでキャリッジリターンのみ入力します。
- ⑤ これでUF001のメンバー名TESTがファイル名AとしてT・S・Sモードでコピーされます。

例

```
$$$CON, TSS.....①
ACOS-6 TSS (R3.2) ON 12/08/77 AT 10.874 CHANNEL
0404 USER ID-XXXXXXXXXXXX.....②
PASSWORD--
MMMMMMMM
{ SYSTEM? BCDJISΔUF001/TEST, R;A.....③
  LINE NUMBERS? AUTO
  TAB CHARACTERS AND SETING? .....④
  SYSTEM?
}
←BCDJISΔUF001/TEST, R;A
    ↑           ↑           ↑           ↑
    利用者番号   ↑           リードオンリー   コピーし作られるファイル
                  |
                  メンバー名
```

2. BATCHを利用してコピーする方法

① 移行ファイルから各自の課題番号（SMC）の下にコピーするコントロールカード

```
1      8      16
$      JOB      XXXXXXXXXXXX$XXXXXXXXX.....①
                (課題番号)      (パスワード)

$      PROGRAM SCED.....②
$      PRMFL IN, R, S, UF001/TEST.....③
$      PRMFL OT, W, S, XXXXXXXXXXXX/A.....④
$      ENDJOB
```

① JOB カード

② *Cエディタを呼び出す。

③ 利用者番号UF001のメンバーTESTを入力する。

④ 各自の課題番号の下ファイル名Aに出力する。

㊦ コピーするジョブを実行する前に、ACOS-S800の各自の課題番号の下にあらかじめファイル名とファイル容量をFILSYS（ファイル・マネージメント・スーパーバイザ）プログラムで登録しておかなければなりません。

1	8	16	
\$	JOB	XXXXXXXXXXXX\$XXXXXXXXXX	①
\$		(課題番号) (パスワード)	
\$	PROGRAM	SCED	②
\$	PRMFL	IN, R, S, XXXXXXXXXXXXX/A	③
\$	PRMFL	OT, W, S, XXXXXXXXXXXXX/B	④
\$	DATA	A*, , COPY	⑤
\$	CEANGE	7, 7	⑥
		A=B+C*(D+E)	⑦
\$	ENDCOPY		⑧
\$	ENDJOB		

- ① JOB カード
- ② *Cエディターを呼び出す。
- ③ ファイルAを入力フィルとする。
- ④ ファイルBを出力フィルとする。
- ⑤ 修正データーを指定。
- ⑥ レコード7番目のみチェンジ。
- ⑦ 修正データー。
- ⑧ 修正データーの終り。

センター・ニュースの刊行時期について

大阪大学大型計算機センター・ニュースの刊行時期は、原則として2月、5月、8月、11月の予定です。

昭和52年度 計算機稼動状況

システム	NEAC 2200	モデル	700 (システム1)	記憶容量	1024KCH	(単位 時間)					合計	平均
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
サービス時間	160:13	219:18	240:54	232:48	239:22	223:40	228:05	225:46	273:20	2043:26	227:02	
開発時間	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	
講習用時間	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	
準備時間	1:54	2:18	0:58	1:59	3:13	1:54	2:16	1:50	3:30	19:52	2:12	
アキ時間(※)	7:05	6:40	9:05	8:06	6:47	5:54	6:46	6:16	6:47	63:26	7:02	
業務時間	3:43	4:14	6:33	5:47	5:38	5:23	4:43	3:53	4:14	44:08	4:54	
小計(A)	172:55	232:30	257:30	248:40	255:00	236:51	241:50	237:45	287:51	2170:52	241:12	
保守時間(B)	34:35	26:45	27:15	24:00	27:25	24:34	25:10	24:10	17:14	231:08	25:40	
故障時間(C)	2:25	4:00	0:00	1:15	0:15	0:00	0:00	2:10	0:00	10:05	1:07	
運転時間(A+B+C)	209:55	263:15	284:45	273:55	282:40	261:25	267:00	264:05	305:05	2412:05	268:00	
稼動率(A-※)/(A+B+C)%	78.9	85.7	87.2	87.8	87.8	88.3	88.0	87.6	92.1	-	87.3	
稼動可能率(A/(A+B+C))%	82.3	88.3	90.4	90.7	90.2	90.6	90.5	90.0	94.3	-	90.0	
運転日数(D)	22	24	26	26	27	24	25	23	22	219	24	
一日平均時間(A/D)	7:51	9:41	9:54	9:33	9:26	9:52	9:40	10:20	13:05	9:54	10:03	

システム	ACOS	77	システム	700	(システム2)				記憶容量	1024KB	(単位 時間)				合計	平均
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12							
サービス時間	117:55	152:20	177:38	184:01	193:37	167:42	172:46	166:32	157:39	1490:10	165:34					
開発時間	8:05	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	8:05	0:53					
講習用時間	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	6:45	6:45	0:45					
準備時間	2:20	2:05	1:18	0:38	1:57	0:49	0:49	1:11	1:23	12:30	1:23					
アキ時間(※)	5:50	2:20	2:15	3:14	8:50	11:22	11:42	3:36	4:12	53:21	5:55					
業務時間	238:55	208:55	65:27	52:41	37:38	74:06	54:42	56:36	52:08	841:08	93:27					
小計(A)	373:05	365:40	246:38	240:34	242:02	253:59	239:59	227:55	222:07	2411:59	267:59					
保守時間(B)	14:00	14:10	19:40	6:55	13:10	7:20	18:00	6:53	3:08	103:16	11:28					
故障時間(C)	1:55	0:00	0:00	1:10	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	3:05	0:20					
運転時間(A+B+C)	389:00	379:50	266:18	248:39	255:12	261:19	257:59	234:48	225:15	2518:20	279:48					
稼働率(A-※)/(A+B+C)%	94.4	95.6	91.7	95.4	91.3	92.8	88.4	95.5	96.7	-	93.6					
稼働可能率(A/(A+B+C))%	95.9	96.2	92.6	96.7	94.8	97.1	93.0	97.0	98.6	-	95.7					
運転日数(D)	24	29	26	26	27	24	25	23	23	227	25					
一日平均時間(A/D)	15:32	12:36	9:29	9:15	8:57	10:34	9:35	9:54	9:39	10:37	10:43					

システム	NEAC	2200	モデル	700	(システム3)			記憶容量			1024KCH			(単位 時間)			合計	平均
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12									
サービス時間	194:46	227:32	248:20	246:33	262:32	230:52	233:32	234:05	286:47								2164:59	240:33
開発時間	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
講習用時間	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
準備時間	1:39	1:20	1:17	2:00	2:30	1:31	2:03	1:58	2:20								16:38	1:50
アキ時間 (※)	6:40	7:20	8:21	8:03	7:29	7:22	7:13	4:43	5:46								62:57	6:59
業務時間	5:55	5:23	5:37	12:09	5:49	9:55	3:32	4:10	5:30								58:00	6:26
小計 (A)	209:00	241:35	263:35	268:45	278:20	249:40	246:20	244:56	300:23								2302:34	255:50
保守時間 (B)	25:35	23:10	28:55	25:00	24:45	25:10	25:15	21:14	20:22								219:26	24:22
故障時間 (C)	0:00	3:45	0:15	0:00	0:00	1:30	2:00	1:00	0:00								8:30	0:56
運転時間 (A+B+C)	234:35	268:30	292:45	293:45	303:05	276:20	273:35	267:10	320:45								2530:30	281:10
稼働率 (A→※)/(A+B+C)%	86.2	87.2	87.1	88.7	89.3	87.6	87.4	89.9	91.8								-	88.5
稼働可能率 (A/(A+B+C))%	89.0	89.9	90.0	91.4	91.8	90.3	90.0	91.6	93.6								-	90.9
運転日数 (D)	25	24	26	26	27	24	25	23	23								223	24
一日平均時間 (A/D)	8:21	10:03	10:08	10:20	10:18	10:24	9:51	10:38	13:03								10:19	10:39

システム	NEAC	2200	モデル	500	(システム4)	記憶容量	524KCH	(単位 時間)
月	4	5	6	合計	平均			
サービス時間	118:40	129:53	53:00	301:33	100:31			
開発時間	2:45	0:00	0:00	2:45	0:55			
講習用時間	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00			
準備時間	2:20	2:42	0:50	5:52	1:57			
アキ時間 ^(※)	11:25	12:45	3:25	27:35	9:11			
業務時間	9:10	10:50	4:25	24:25	8:08			
小計 ^(A)	144:20	156:10	61:40	362:10	120:43			
保守時間 ^(B)	14:35	14:30	8:15	37:20	12:26			
故障時間 ^(C)	0:00	2:05	0:00	2:05	0:41			
運転時間 ^(A+B+C)	158:55	172:45	69:55	401:35	133:51			
稼働率 ^{(A→※)/(A+B+C)%}	83.6	83.0	83.3	-	83.3			
稼働可能率 ^{(A/(A+B+C))%}	90.8	90.4	88.2	-	90.1			
運転日数 ^(D)	22	24	10	56	18			
一日平均時間 ^(A/D)	6:33	6:30	6:10	6:28	6:42			

パ ッ チ 利 用 状 況 表

システム	JOB 区分	月	4 月 (%)	5 月 (%)	6 月 (%)	7 月 (%)	8 月 (%)	9 月 (%)	10 月 (%)	11 月 (%)	12 月 (%)	合 計
I	オ ー プ ン	処理件数 CPU時間	0 (0.00) 0	0 (0.00) 0	0 (0.00) 0	0 (0.00) 0	0 (0.00) 0	0 (0.00) 0	27 (0.91) 400	0 (0.00) 0	0 (0.00) 0	27 (0.09) 400
	A	処理件数 CPU時間	302 (20.98) 26,565	403 (15.09) 33,910	567 (16.18) 48,310	735 (21.69) 60,665	586 (18.97) 48,660	867 (22.28) 72,121	382 (12.90) 31,359	512 (15.71) 44,796	600 (15.97) 51,042	4,954 (17.73) 41,7428
	B	処理件数 CPU時間	897 (62.77) 206,545	1,528 (57.24) 358,855	1,726 (49.27) 373,755	1,484 (43.80) 325,254	1,425 (46.14) 291,321	1,281 (32.93) 251,885	1,192 (40.28) 262,008	1,305 (40.04) 302,660	1,724 (45.88) 445,709	12,562 (44.95) 281,7992
	C	処理件数 CPU時間	15 (1.04) 25,355	7 (0.26) 8,666	10 (0.28) 18,690	21 (0.61) 17,651	65 (2.10) 91,503	51 (1.31) 46,305	99 (3.34) 150,431	84 (2.57) 143,581	56 (1.49) 78,608	401 (1.43) 580,790
	リ モ ー ト ・ パ ッ チ	処理件数 CPU時間	190 (13.29) 13,647	641 (24.01) 13,466	1,033 (29.48) 24,935	874 (25.79) 22,109	500 (16.19) 15,257	942 (24.21) 34,091	783 (26.46) 30,949	899 (27.58) 33,941	1,056 (28.10) 48,208	6,918 (24.75) 131,797
II	そ の 他	処理件数 CPU時間	25 (1.74) 243	90 (3.37) 445	167 (4.76) 1,947	274 (8.08) 2,921	512 (16.58) 8,176	749 (19.25) 4,967	476 (16.08) 9,732	459 (14.08) 15,234	321 (8.54) 10,858	3,073 (10.99) 54,523
	計	処理件数 CPU時間	1429 272,355	2669 415,342	3503 470,637	3388 428,600	3088 454,917	3890 409,369	2,959 484,879	3,259 540,212	3,757 634,425	27,942 4,110,736
	暫定パッチ	処理件数 CPU時間	55 (12.14) 229	208 (9.69) 3,391	246 (13.14) 13,825	346 (11.40) 4,609	414 (10.92) 4,666	414 (8.65) 3,648	234 (5.86) 13,521	324 (7.36) 4,831	497 (10.43) 37,325	2,738 (9.37) 86,045
	リ モ ー ト ・ パ ッ チ	処理件数 CPU時間			82 (3.82) 683	905 (29.82) 9,0027	1,371 (33.55) 95,892	1,695 (35.44) 53,519	1,829 (45.84) 51,889	2,121 (48.21) 71,578	2,467 (51.79) 109,203	10,580 (36.24) 476,888
	そ の 他	処理件数 CPU時間			1,515 (80.97) 50,750	1,783 (58.76) 8,2569	2,003 (52.87) 35,878	2,673 (55.89) 57,489	1,927 (48.29) 61,494	1,954 (44.41) 66,280	1,799 (37.77) 62,578	15,906 (54.48) 473,362
III	小 計	処理件数 CPU時間	451 14,839	2,146 45,788	1,871 68,672	3,034 177,205	3,788 136,436	4,782 114,656	3,990 126,904	4,399 142,689	4,763 209,106	29,194 1,036,295
	T S S	処理件数 CPU時間	1,314 16,664	2,762 26,128	1,852 17,031	3,055 71,324	2,891 70,384	3,164 142,773	2,552 116,484	3,042 111,784	3,667 148,133	24,299 720,705
	オ ー プ ン	処理件数 CPU時間	4121 (74.38) 52,505	5,730 (70.58) 69,833	7,224 (74.05) 91,336	6,857 (75.13) 93,205	5,096 (63.36) 66,866	5,954 (63.88) 78,851	4,951 (66.71) 61,801	6,830 (70.46) 88,489	7,168 (70.18) 92,003	53,931 (69.83) 694,889
	A	処理件数 CPU時間	1,152 (20.79) 87,473	1,914 (23.57) 12,5031	1,789 (18.30) 12,6760	1,404 (15.38) 10,3476	1,660 (20.64) 127,250	1,501 (16.10) 129,612	1,552 (20.91) 114,123	1,869 (19.28) 142,172	1,962 (19.21) 162,934	14,803 (19.16) 1,118,831
	B	処理件数 CPU時間	117 (2.11) 27,447	153 (1.88) 32,569	91 (0.93) 2,2982	179 (1.96) 36,230	162 (2.01) 23,205	262 (2.81) 56,248	109 (1.46) 23,948	61 (0.62) 13,568	47 (0.46) 9,354	1,181 (1.52) 245,551
IV	C	処理件数 CPU時間	64 (1.15) 85,746	118 (1.45) 92,732	131 (1.34) 136,274	114 (1.24) 92,404	202 (2.51) 222,137	185 (1.98) 118,289	194 (7.61) 214,323	224 (2.31) 236,021	267 (2.61) 309,981	1,499 (1.94) 1,507,907
	そ の 他	処理件数 CPU時間	86 (1.55) 569	203 (2.50) 2,637	520 (5.33) 4,687	572 (6.26) 4,627	922 (11.46) 11,443	1,418 (15.21) 15,156	615 (8.28) 11,726	709 (7.31) 10,385	769 (7.53) 17,174	5,045 (6.53) 78,404
	計	処理件数 CPU時間	5540 253,740	8,118 322,802	9,755 382,039	9,126 329,942	8,042 450,901	9,320 398,156	7,421 425,921	9,693 490,635	10,213 591,446	77,228 3,645,582
	T S S	会 話 数 CPU時間	284 72,059	216 25,510	54 4,356	S 52.6.11日をもってサービスを終了した。						

(注) 1. 〃は、同一システム内での百分比を示す。

2. システムⅠは、NEAC2200シリーズ・モデル700。 システムⅡは、ACOSシリーズ77システム700。 システムⅢは、NEAC2200シリーズ・モデル700。
 システムⅣは、NEAC2200シリーズ・モデル500。(6月末撤去)